

磐 梯 山

火山活動評価：静穏な状態

地震活動、噴煙活動は低調な状態で、地殻変動、熱活動に特段の変化はなく火山活動は静穏に経過しました。

概況

・ 地震活動（図 2～3）

火山性地震は少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・ 噴煙活動（図 4）

遠望観測（監視カメラ：山頂の北約 7km）では、山体北側火口壁の噴気の高さは 50m 以下で低調な状態が続いています。

・ 地殻変動（図 5～6）

山体周辺で行っている GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

・ 熱活動（図 7～8）

10 月 26～27 日に、沼の平（V）及び火口壁付近（Y）の赤外熱映像装置¹⁾による地表面温度分布及びサーミスタ温度計²⁾による噴気温度等の観測を実施しました。その結果、昨年(2005 年 10 月)の現地観測結果と比較して地熱地帯・噴気温度の状況に変化はなく、静穏な状態であることを確認しました。

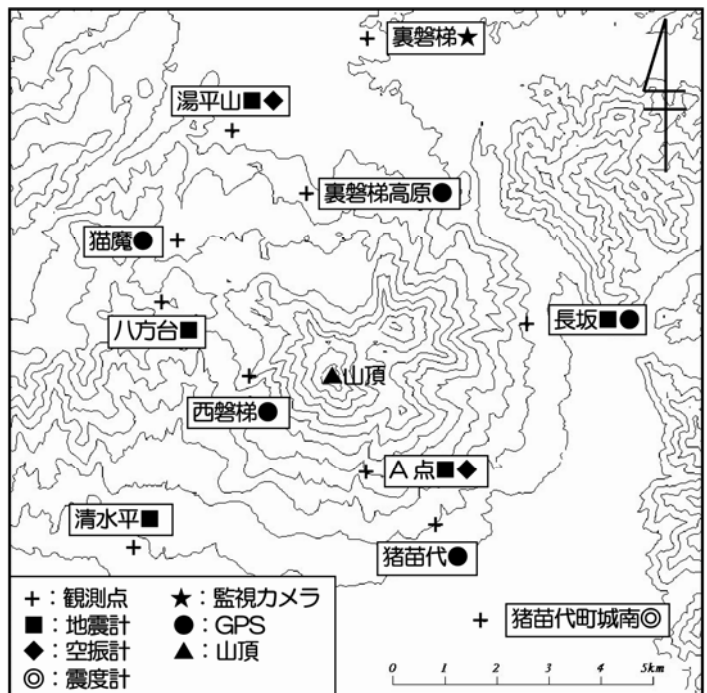


図 1 磐梯山 観測点配置図

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) 地中温度等はサーミスタ温度計で測定。サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

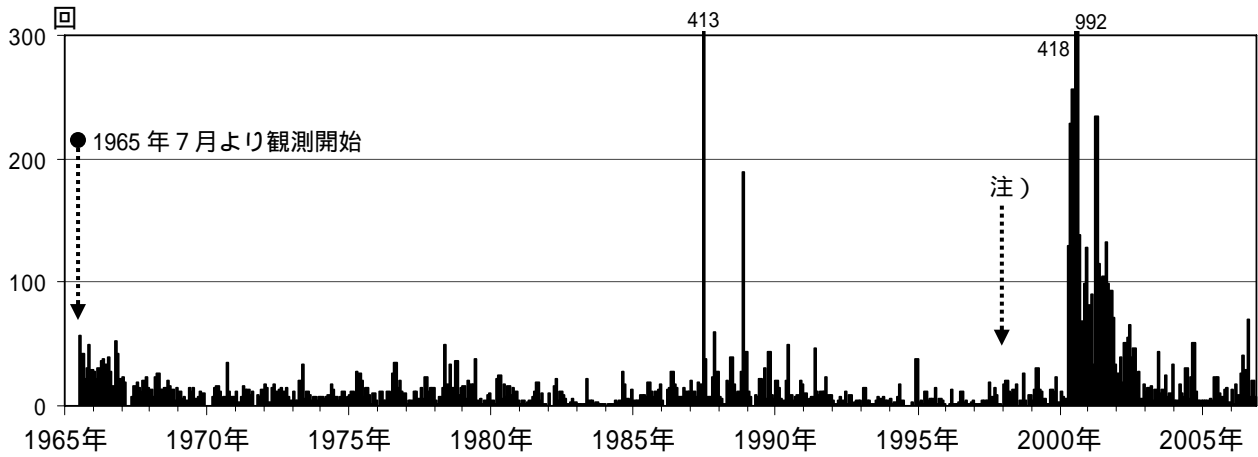


図2 磐梯山 月別地震回数(1965年7月～2006年11月)
 注) 1998年より検測基準変更(S-P5秒以下からS-P2秒以下に変更)
 2000年10月に、基準観測点(A点)を西へ約100m移設(山頂からの距離(南南東約2km)はほぼ同じ)

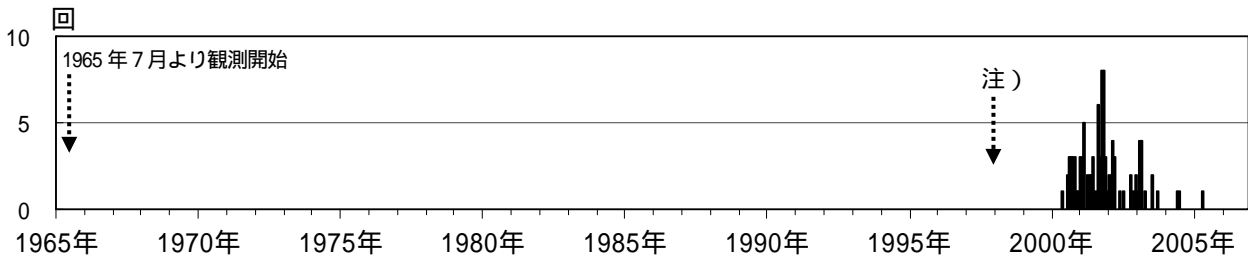


図3 磐梯山 月別微動回数(1965年7月～2006年11月)
 注) 2000年10月に、基準観測点(A点)を西へ約100m移設(山頂からの距離(南南東約2km)はほぼ同じ)

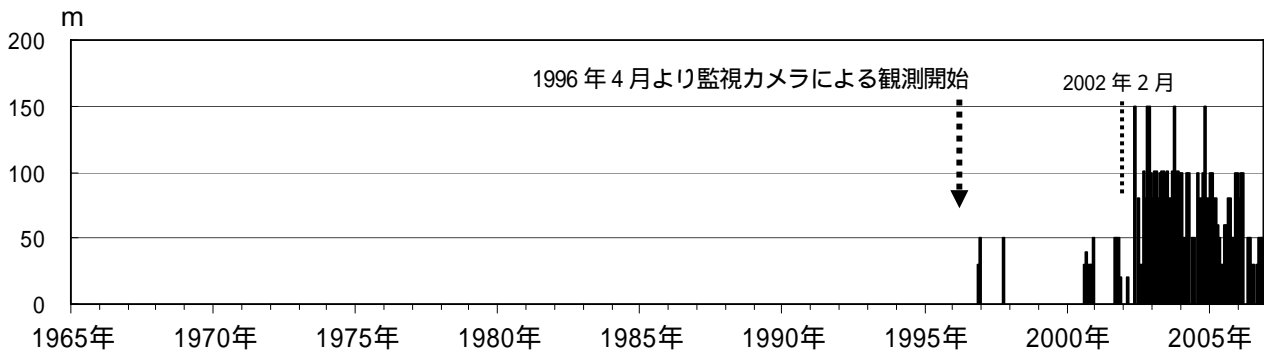


図4 磐梯山 月最大噴気高(1996年4月～2006年11月)
 2002年2月以前は定時(09時,15時)及び随時観測による高さ。
 2002年2月以後は全ての時間を収録データから観測した高さ。

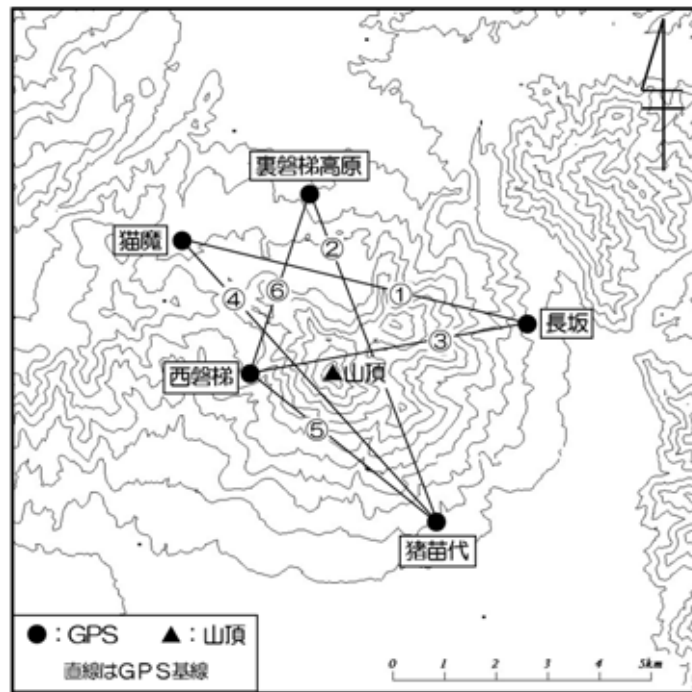


図5 磐梯山 GPS 観測点配置図

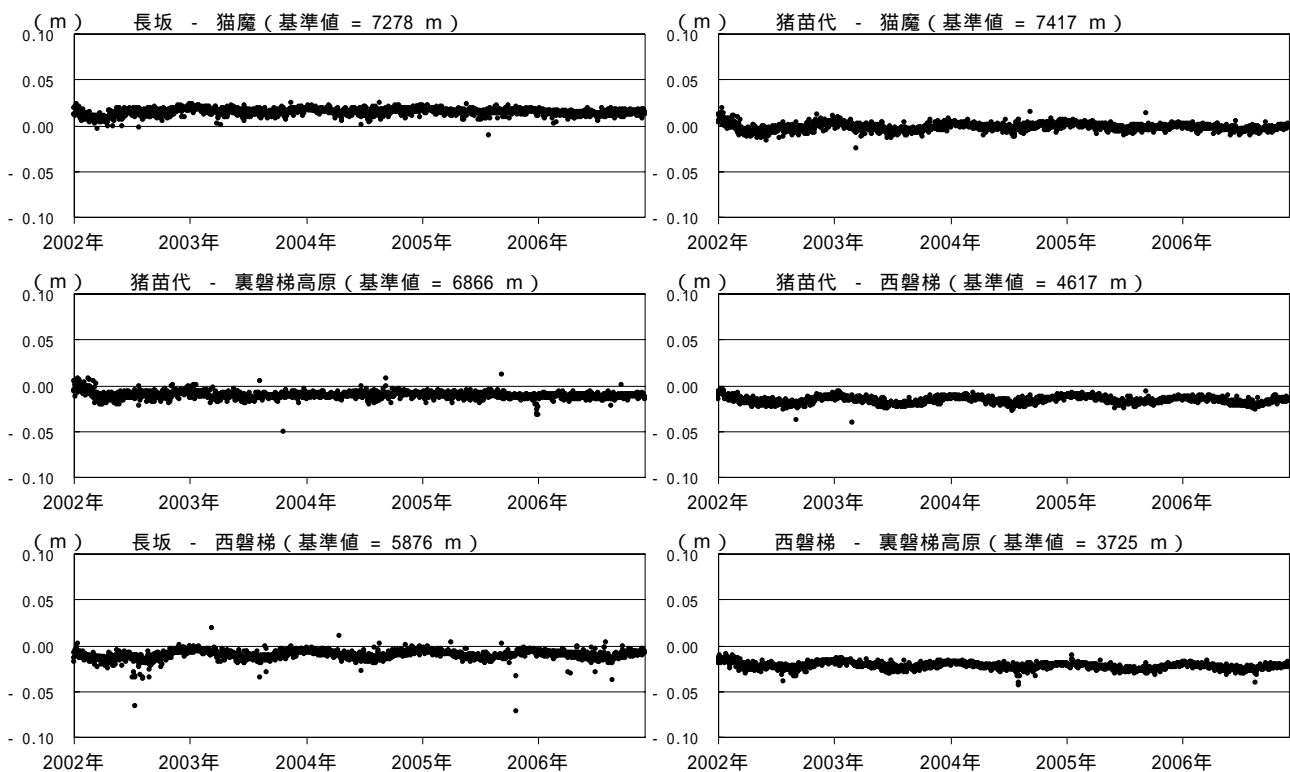


図6 磐梯山 GPS 基線長変化図(2002年1月~2006年11月)

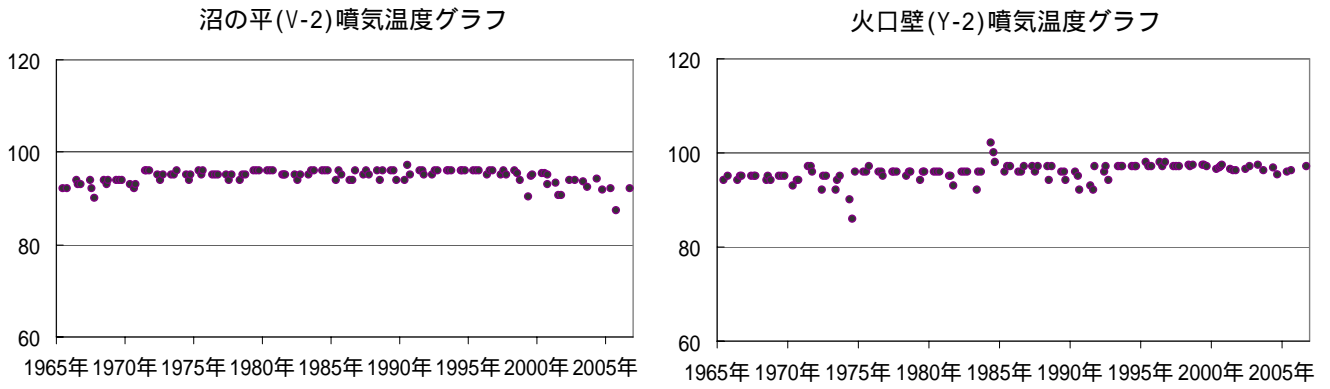


図7 沼の平(左:V-2)と火口壁(右:Y-2)の噴気温度変化

(データ期間:1965年7月~2006年11月)

沼の平(V-2)及び火口壁(Y-2)の噴気温度は、1965年7月の観測開始以降、ほぼ一定しています。

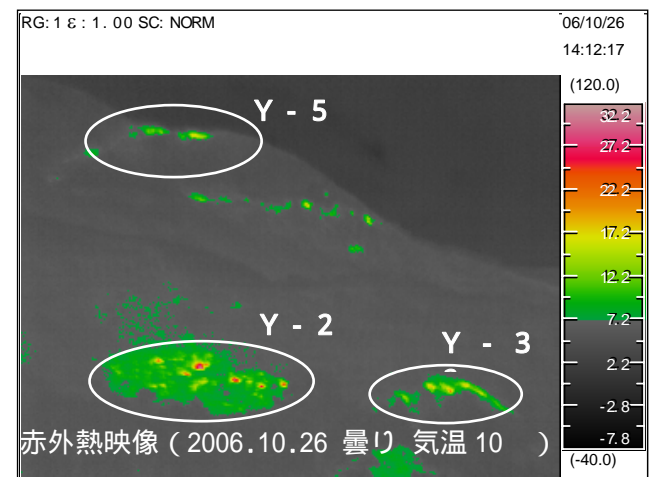
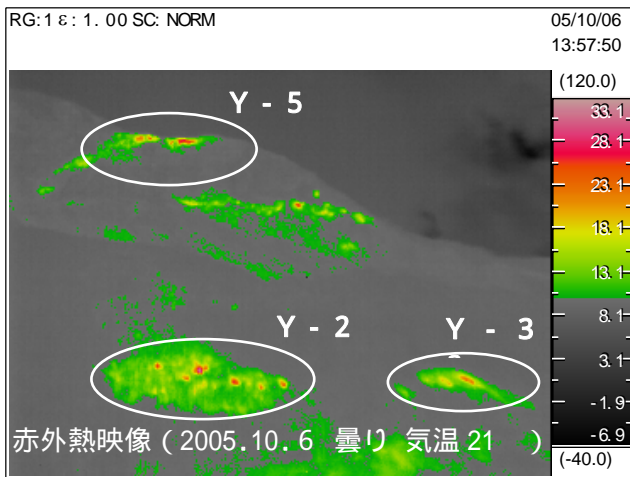
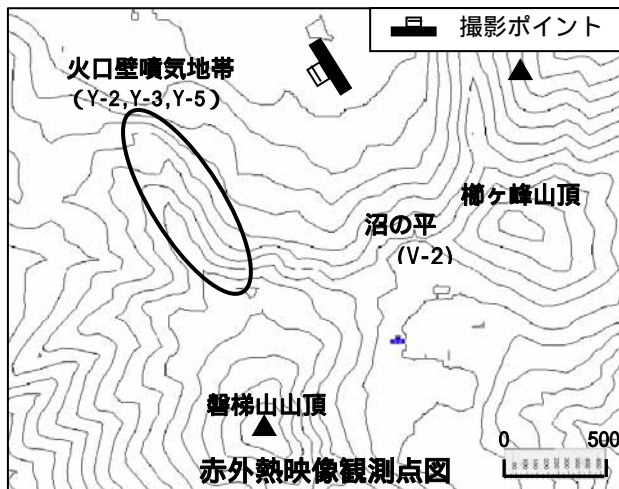


図8 火口壁噴気地帯(Y-2,3,5)の可視画像と赤外熱映像解析図